

# GARAGE DOOR MANUAL vol. III

---



WORLD GARAGE DOOR



ガレージライフ43号  
掲載記事

# 扉の奥の こだわりを探る。

ふだん何気なく使っているガレージドア。  
しかし、何気なく見て、何気なく使っているだけでは知りえない素性があるのだ。  
今回は、ガレージドアの製造過程を追い、あるいは  
一歩踏み込んだ研究を行い、その扉の奥に存在するメーカーのこだわりと  
ポテンシャルを探ってみたいと思う。

title photo/Masayuki-YOSHIMI(吉見雅幸)

ガレージドア  
特集



その存在は家に風格をもたらした。  
それは熱を通さず、保温性にも優れていた。  
その空間は実に静かだった。  
その暖かさは時に安らぎを与えてくれた。

そのガレージドアは  
木製でした。



木製ガレージドアで特別な空間を  
**WORLD GARAGE DOOR**  
株式会社ワールドガレージドア 〒753-0212 山口県山口市下小鮎405番地の1  
TEL.083-927-6500 FAX.083-927-2414 <http://www.wgd.co.jp>

SPECIAL ISSUE  
**GARAGE DOOR**





## 木製オーバードア"ゼクラ"の製造は職人の手仕事と徹底した品質管理。

高級・高品質ガレージドアをいち早くブランド化した三和シャッター工業の木製オーバードア"ゼクラ"。とはいえ、誌面で見るとどこがどう高品質で、価値があるのかわかりにくい。そこで今回は"ゼクラ"の製造工場を訪問し、普段見られない製造過程を紹介しよう。

photo/Masayuki YOSHIMI(吉見雅幸)



高級ガレージドア"ゼクラ"は、木製オーバードアを代表する商品といってもいいだろう。スチール製などと比べれば、価格が高くなるのは確か。しかし、木にしか出せない風合いと佇まい、住宅とのマッチングなどで、どうしてもとほれ込んでしまうユーザーも多いのである。

しかし、木製ドアは難しく、奥深いものなのだ。何しろ生きている木、呼吸する素材なのだから、反ったり、曲がったり、ひび割れたりするもの。木製ドアユーザーになるなら、まずこのことは知っておかなければならない。

そういう現実がある前提で、しかしメーカーとしてはより完成度の高い、ユーザーに納得してもらおうものを作らなければならない。"ゼクラ"を製作する上で、最も神経を使っているのが、まさにこの点なのである。

そのためには、まずは品質管理。ドア1セットごとに製造カルテが造られ、工程ごとに含水率やその時の気温、キズの有無などを細かに記録。それは、納品後のユーザーサービスにも大きく役立つものだ。

また、木の特性を考慮した製造方法も他にないもの。簡単に言えば、最初に形を整えても最後には曲がってしまう、だったら最後に形をピシッと出せばいい——。簡単なことだと思われるかもしれないが、よりよい製造方法を考へて日々悩み、頭をしぼり、あるいは何千万円もする機械を特注したりしているのだという。

では、1枚のパネルごとに職人の手作業で作られていく"ゼクラ"の製造工程を見ていこう。

### 木材の選定



1 使用される木材は、平積みではなく、このように板と板の間に隙間をあける形で保管されている。風通しをよくすることで、いい状態に保たれる。



2 1枚のドアには4~6のセクションがあり、それぞれ4枚程度の板が使われている。計20枚ほどにもなる使用木材を、人の目で1枚1枚見ながら選び出していく。



3 最終的には1枚のドアになるのだから、板同士の木目の相性のよさ、美しさを基準にして、必要枚数が選び出される。もちろん、キズや節目などのチェックも行い。



4/選り出された木材は、まず含水率のチェックが行われる。保管状態には十分に注意するが、木の状態はその日の気温や湿度などに大きく左右されてしまう。  
5/この日のこの木材の含水率は約12%で、加工に適した値。またこの値を考慮してこの後の加工作業が行われていく。  
6/そのために、木材ごとに「製作カルテ」が作られて、各工程ごとの含水率や加工時の気温、湿度、木材の状態などが記録され、次の工程へと送られていくのだ。

## ガレージドア特集 扉の奥のこだわりを探る。

### 表面材の加工



1 パネルの表面になる木材は、まず厚み、幅決め加工で図面の通りのサイズにされる。その後、写真のモルダーでまず最初の研磨が行われる。



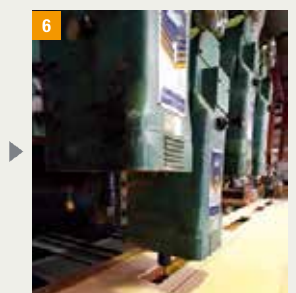
2/モルダーでは、木材の4面が研磨される。研磨は各工程で随時行われ、最終的に合計5回も行われる。ここではまずおおまかな研磨を行う。  
3/木材同士を並べ固定するのに必要な"さね"加工を行う。木材が重なり合い、はまる段差を面取り盤で加工していく。



4 長い板でも正確に"さね"が彫られて出てくる。この工程を見る限り木工所然としているが、それも間違いでない。ドアパネルは手造りされる木工製品なのだ。



5/"さね"加工がされた木材同士がぴったりと合さる。番号が振られている通り、この段階で木目の合い方によって使われる木材、順番が決まっている。  
6/オーナーの要望で明かり窓が設置される場合は、次の段階で行われる。NC加工機が使われ、コンピュータ制御で、例え複雑なデザインでも完璧に彫り上げる。



GARAGE DOOR  
SPECIAL ISSUE



## かまち材の加工



1/木材を選定し、サイズ決め、表面研磨、ボーリング加工が行われると、かまち材の接着・組み立てとなる。水平プレス機でしっかりと接合させる。  
 2/かまち材は、各セクションの骨組みとなる部分。最終的にはハシコのようなこの枠組みに表面材を取り付け、ひとつのパネルのセクションが完成する。  
 3、4/プレス機で強固に組みあがったかまち材。次は糊止め加工を行う。次の工程で表面材を貼り付ける時、接着剤がはみ出さないようにするため。糊止め加工は、ひとつひとつトリマーを使って手作業で彫っていく。長さになるとかなりの長さになる。職人にとってはまさしく真剣勝負の部分。



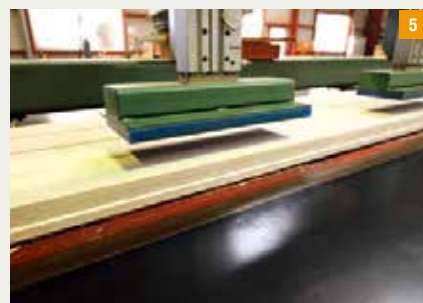
## パネルの仕上げ



1/かまち材と表面材は7日間養生させた後、両者をプレス機で接着して合体させる。使われるプレス機は、6mのドアにも対応する特注の大型プレス機を使っている。  
 2/こうしてパネルセクションが形になる。その後、接着剤が乾くまでさらに1日養生させる。  
 3/パネルが出来たところで、いよいよ最終仕上げとなる。6mを超える横幅のドアに対応するため、このランニングソーも他に例のない大型の機械を使う。



ランニングソーで、面加工、小口加工を行う。この段階で、最終的にパネルのラインを真っ直ぐにする加工が行われる。それ以前の段階では、木材が安定していないのだ。



パネルのラインを真っ直ぐにできることで、一般的にはカンナを使って微調整していた現物合わせの作業が過去のものとなった。パネル同士がつながる接合部分も加工された。

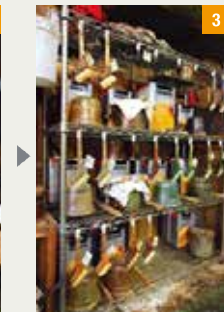
# GARAGE DOOR

SPECIAL ISSUE

## 最終研磨・塗装



1  
 ヒンジ穴や手掛けなどの細かな加工が施されたパネルは、いよいよ最終仕上げの段階に入る。研磨、水拭き、1日乾燥。そして最終研磨仕上げが行われる。



3  
 塗料は木目を生かすオイルステイン系のものを使う。色々なカラーに対応可能。また、木の状態によって、最適な塗料を使い分ける。ここでも作業カルテが役立つ。

研磨が完了し、計量チェックが行われたら、いよいよ塗装だ。塗装はハゲを使った手作業で行われる。表2回、裏1回塗り。2日にわたって行われる。



4  
 塗りあがったら、さらに1日乾燥させ、その後ウエザーストリップを取り付けられる。仕様によっては、明かり窓取り付けやステンプレートの装着なども行われる。



5  
 こうして完成。しかし、念を入れて最後の検査、確認が行われる。そしてようやく梱包される。また、これら作業とは別に、レールやオープナー、金具なども準備される。



6  
 こうして完成し、必要なものがすべてセットされたら、建築現場へと出荷されていく。梱包にも“ゼクラ”のネームが入るのだが、それだけのことはあるのだ。

出荷

## ガレージドア特集 扉の奥のこだわりを探る。

### 施工・完成

レンガ調の温かみのあるガレージ外観に、木製ドアがよく似合っている。こちらでは、ドアの下部が傷まないようにステンレス製のボトムカバーを装着している。

このような30以上の丁寧な工程を経て、“ゼクラ”は造られる。そして最後には、ガレージ建築現場で施工が行われ、完成となるのだ。

当初は、最近では当たり前な全自動機械を使ってぱっぱと造られていくのかと漠然と思っていたが、ここまで丁寧に、入念に造られていることに驚かされた。

それより何より、その製作工程のバックボーンとして存在する木へのこだわり、木というものの徹底的な追求、木への理解、そんなものが印象に残った。

木材は反ったり曲がったりする。それを無理やりどうにかしようとしても、人間が自然にかなうわけではない。そうではなく、木を理解して、どうしたらこちらの言うことを聞いて真っ直ぐでいてくれるのか？無理強いせず木を受け入れる気持ち、“ゼクラ”の製造方法はそういう観点で考えられている。

そうして造られた“ゼクラ”だからこそ、ユーザーにもそういう気持ちが必要なのだと思う。もし反ったら、ああ生きているんだと思う気持ち、艶がなくなってきたら、じゃあ塗装してあげようねという思いやり。そんな付き合い方が出来れば、“ゼクラ”をより楽しめ、よきパートナーとして共に暮らしていけるのではないかと。

誕生の様子を目の当たりにすると、そんな夢みたいなことさえ思えてしまう。それが“ゼクラ”の魅力なのだ。





## フラットタイプ



## 木製ガレージドア作品集



アメリカ民間飛行場のイメージです。  
米ヒバ 色:オスモカントリーカラー スカンジナビアレッド W5400×H2350



母屋に銅板を使っており、ガレージドアにも下部銅板プレートを使用しました。明り窓はステンドグラスです。  
米杉 色:キシラデコール ジェットブラック OP:明り窓 下部銅板プレート W5570×H2130





檜（ナラ）を使用しています。木目が美しく、室内の壁や床、建具などあらゆる場所に使われる高級材です。他にウォルナット、マホガニー、アッシュ等さまざまな樹種に対応いたします。  
 檜 色:シッケンズ セトルHLS クリアー W5260×H2200



奥が引き戸、中央に玄関ドア、手前がオーバーガレージドアです。  
 サザンレッドパーチ 色:シッケンズ セトルHLS ダークオーク W3000×H2200



明り窓を基礎の高さに合わせ下にかけてきたことで、バランスがよくなり、安定した印象になりました。  
 米杉 色:キシラデコール エボニー OP:明り窓 W6000×H2380



輸入ステンドグラスと足元のステンレスプレートがアクセントになっています。  
 米松 色:シッケンズ セトルHLS エボニー W5370×H2080





チークを使用しています。船の甲板に使われるほど非常に強い耐性を持ち年月を経るほどに味わい深い色に変色します。

チーク 色:バトン #501 透明 W5300×H2050



壁と面一になるよう設計されたオーバーガレージドアです。長面材は米杉ですが耐候性を考え敢えてカンナをかけずラフな状態で仕上げています。

米杉 塗装:シッケンズ HLSダークオーク W5170×H2225



白い壁に、ライトオークの塗装が良く映えます。

米桐 色:シッケンズ セトールHLS ライトオーク W5550×H2395



米杉独特の風合いに若干光沢の出る耐候性の高い塗料を使用しています。

米杉 塗料 シッケンズノパテック ウォルナットW3100×H2735



## ワイドフラットタイプ



日本では神社仏閣に使用される高級材の米ヒバを使用しています。  
米ヒバ 色:キシラデコール カスタニ W5500×H2400



大手ハウスメーカーPR物件、新聞、雑誌広告に掲載されました。  
米杉 色:キシラデコール やすらぎ W7100×H2230



和風の家にはあえて板幅の細い米柵を使用しています。  
米柵 塗装:キシラデコール やすらぎ W5780×H2100



上記PR後、好評を得、採用されました。  
米杉 色:キシラデコール パリサンダ W7310×H2300





車が横並びに3台駐車できるサイズです。軽量化の為、米杉を使用しています。  
米杉 色:キシラデコール ジェットブラック W7620×H2150



表面材は一枚物で取れない為、3枚接ぎになっています。  
米杉 (ライトカラー) 色:キシラデコール やすらぎ W6900×H1900

# WORLD GARAGE DOOR

## EB-1724

木製ガレージドア  
防火設備タイプ

「遮炎性能」認定

耐火建築物 設置OK  
準耐火建築物

法第2条九号ニロ・令第109条2 両面20分の遮炎性能を有しているタイプです。

ガレージドアの表面材には以下の樹種がご選びいただけます。

- ・米杉
- ・米ヒバ
- ・米栂
- ・米松

その他の樹種についてもお問い合わせください。

製作可能サイズ

開口幅 1,500mm~2,620mm

開口高 1,200mm~2,655mm

その他の特徴

断熱素材として「フェノールフォーム」を使用しています。断熱・防音に優れています。



- 耐火・準耐火建築物に取り付けできます。
- 三階建てにも設置できます。

[ 防火地域内の建築物 ]

		延べ面積		
		50㎡以下の付属建築物	50㎡超100㎡以下	100㎡超
階数	3以上	耐火建築物【遮炎性能】		
	2	耐火建築物 又は 準耐火建築物 【遮炎性能】		
	1	木造建築物(防火構造)も可 【準遮炎性能】	耐火建築物 又は 準耐火建築物 【遮炎性能】	

[ 準防火地域内の建築物 ]

		延べ面積		
		500㎡以下	500㎡超1500㎡以下	1500㎡超
階数 (地下を除く)	4以上	耐火建築物【遮炎性能】		
	3	耐火建築物 又は 準耐火建築物 【遮炎性能】		
	2又は1	木造建築物(防火構造)も可 【準遮炎性能】	耐火建築物 又は 準耐火建築物 【遮炎性能】	

▶ 木製ガレージドアとしての特徴

- ・ 耐火、準耐火建築物に取り付けられます。
- ・ ドアの材質は米ヒバ、米松、米杉、米栂となりますがその他の樹種についてもお問い合わせください。
- ・ 断熱素材として「フェノールフォーム」を使用しており、断熱・防音に優れています。

▶ 設計範囲

[ ガレージ開口寸法 ] W 1,500mm~2,620mm / H 1,200mm~2,655mm



米松 色:シッケンズ セトールHLS ウォールナット W2620×H2200



米栂 色:シッケンズ セトールHLS ダークオーク W2600×H2080



# WORLD GARAGE DOOR

## EC-0026

### 木製ガレージドア 防火設備タイプ 「準遮炎性能」認定

**開口幅 5,600mmまでOK**

建築基準法第64条、片面20分の準遮炎性能を有しているタイプです。

ガレージドアの材質は「米松」になります。

製作可能サイズ

開口幅 1,800mm~5,600mm

開口高 1,800mm~3,000mm

## 準遮炎性能

認定番号 EC-0026

- 防火地域：50㎡以下の1階建て建築物に取り付けできます。
- 準防火地域：500㎡以下の2階建て建築物に取り付けできます。
- いずれも道路、隣地境界線を気にせず取付できます。

[ 防火地域内の建築物 ]

		延べ面積		
		50㎡以下の付属建築物	50㎡超100㎡以下	100㎡超
階数	3以上	耐火建築物【遮炎性能】		
	2	耐火建築物 又は 準耐火建築物【遮炎性能】		
	1	木造建築物(防火構造)も可【準遮炎性能】	耐火建築物 又は 準耐火建築物【遮炎性能】	

[ 準防火地域内の建築物 ]

		延べ面積		
		500㎡以下	500㎡超1500㎡以下	1500㎡超
階数 (地下を除く)	4以上	耐火建築物【遮炎性能】		
	3	耐火建築物 又は 準耐火建築物【遮炎性能】		
	2又は1	木造建築物(防火構造)も可【準遮炎性能】	耐火建築物 又は 準耐火建築物【遮炎性能】	

### ▶ 木製ガレージドアとしての特徴

- ・ 隣地境界線からの距離を気にせず取り付けられます。
- ・ ドアの材質は米松のみで幅広の目の通った材を使いますので、高級感と重厚感にあふれ家全体の価値を高めます。

### ▶ 設計範囲

[ ガレージ開口寸法 ] W 1,800mm~5,600mm / H 1,800mm~3,000mm





# 防火設備 準遮炎性能 EC-0026



米松 色:ノンロット 205N Zライトグレー W2605×H2330



米松 色:シッケンズ セトールHLS ライトオーク W5175×H2200 (左) W3000×H2200 (右)



大手ハウスメーカー設計折込物件です。  
米松 色:バトン ダークブラウン W3115×H2155 (左) W5620×H2155 (右)



米松 色:シッケンズ セトールHLS ウォールナット W5200×H2300



## 模様タイプ



米桐 色: シッケンズ セトールHLS ウォールナット W5486×H2145



米松 色: シッケンズ セトールHLS ウォールナット W6483×H2300



車庫内にリフトを設置して、愛車を高く持ち上げ、2階のリビングから眺められるようになっています。  
ガレージドアのレールはハイリフトタイプとなっています。  
米桐 色: キシラデコール マホガニー OP: ハイリフトレール W2600×H2500





鏡板を互い違いに配置したデザインです。  
米桐 色:キシラデコール ウォールナット W3020×H1640



米桐 色:シッケンズ セトールHLS マホガニー W4670×H2280



お施主様のご意向で手前はオーバースライダー、奥はスイングアップドアとなっています。  
米桐 色:シッケンズ セトールHLS ウォールナット OP:明り窓 W2500×H1700 (左) W2500×H2100 (右)



某企業様の保養所です。景観への配慮からガレージドアもグリーンとなりました。  
米桐 色:ノンロット ZS-GG グラスグリーン OP:明り窓 W5260×H2120



## ブリティッシュタイプ



ヨーロッパの古い街並みをイメージしたデザインです。  
観音開きの門扉に見えますが、上に開いていくオーバースライダーです。  
米柵 色:シッケンズ セトールHLS ライトオーク OP:明り窓 W2400×H2400



西欧風住宅に設置しました。家の雰囲気と絶妙にマッチしています。  
米柵 色:シッケンズ セトールHLS ウォルナット W2400×H220



アメリカンテイストあふれる住宅への設置例。塗装の選択次第で大きくイメージが変わります。  
米柵 色:オスモカントリーカラー ダブルブルー W2720×H2400



## スイングアップドア



開放時。タンバックル (たわみ止め) 付です。

特注材のマホガニーを使用しています。スイングアップドアならではの縦張りのデザインです。

マホガニー 色: シッケンズセトルHLSマホガニー W3090×H2040



ガレージドアが閉まった時に壁と一体になるデザインです。

米松 色: キシラデコール ウォールナット W2395×H2090





スイングドア手動式。玄関ドアとデザインを統一しています。  
米杉 色：キシラデコール カスタニ W3000×H2100



ホテルのロビーに、間仕切り兼インテリアとして使用しています。  
アルミ、軽量強化ガラス 色：ブラック



カントリースタイルのガレージに門扉型のスイングドアです。  
米桐 色：カスモ カントリーカラー アイボリー W2365×H2360



店舗のドアと店舗内のデザインを兼ねています。  
米杉 両面フラッシュ張り 色：無塗装



# 格子タイプ

※開閉動画を  
ご覧になれます。



開き戸

サイドスライダー両開き

スイングドア1

スイングドア2

門扉



杉 色:オスモカラー パークグレー







設計士の意向で、ベランダの手すりとガレージドアが一体に見えるデザインになっています。  
米松 色:キシラデコール ジェットブラック W4850×H2125



ガレージ内が見えないように、裏面全面に不透明のポリカを貼っています。  
米松 色:キシラデコール ウォールナット OP:ポリカ貼り W4700×H2365



京都の景観保護地区条例により、格子指定があり納めた大手ゼネコン物件です。  
一枚もののスイングアップドアで、塗装は建物と同じ「ベンガラ」※です。

米杉 色:ベンガラ W5330×H2110

※ベンガラは土から取れる成分(酸化鉄)で紅殻、弁柄とも呼ばれ日本の暮らしにも古くから根付いている素材で陶器や漆器、また防虫、防腐の機能性から家屋のベンガラ塗りとしても使用されてきました。





米松 色:ノンロット クリア W4500×H2100



格子 面—スイングドアと開き戸。全面フラットに見えるように設置しました。  
米松 色:キシラデコール ウォルナット W3400×H2200

ガレージドアと玄関ドアが閉まった時に壁と一体になるデザインです。  
米杉 色:シッケンズ セトルHLS ライトオーク スイングドア W3000×H2500  
玄関ドアW2000×H2200



## パスタドア (オプション)



※ポストロ、追加シリンダー錠はオプションです。



玄関としての機能を兼ねたガレージドアです。  
米桐 色: シッケンズ セトルHLS エボニー OP: パスタドア W2540×H2245



米桐スイングドア 色: シッケンズ セトルHLS ウォールナット OP: パスタドア、ステンドグラス W2600×H2100





米ヒバ 色:キシラデコール パリサンダ W2550×H2230



某工具販売所の事務所兼展示場の入り口です。  
取っ手は、本物のスパナです。

OP:パスタア 文字彫り込み W2260×H2670



シャープなイメージの建物なので、パスタアのレバーハンドルにステンレスを使っています。

米杉 色:シッケンズ セトールHLS エボニー

OP:パスタア W3238×H2140



アンティークなブラックアイアンにぎり玉です。



アンティークなポスト口付です。  
ポストの機能と、デザイン性を兼ねています。

OP:パスタア ポスト口



# サイドスライダー



3Dステンレス リップルス 0.6mm W3500×H1800

※開閉動画を  
ご覧になれます。



米杉 W3800×H2100 色:キシラデコール シルバーグレー





サイドスライダー 米杉 色:シッケンズ セトールHLSe ウォルナット W2515×H1900



サイドスライダー 米樺 色:シッケンズ セトールHLSe ウォルナット W2650×H2400







米杉 色:シッケンズ セトールHLS ウォールナット  
W5050×H1800 (左・両開き) W2550×H1800 (右)



1枚ドアでサイドに引き込むタイプです。下レール無しで開閉します。  
米杉 色:シッケンズ セトールHLS ダークオーク W3860×H2430



アール形状のサイドスライダーです。特殊なレールと開閉機を使用しています。  
米杉 色:キシラデコール カスタニ W3500×H2200



玄関ドアとペアになっています。同素材同色を使うことでRCのガレージに違和感なく溶け込んでいます。  
米杉 色:キシラデコール チーク W2480×H1860 W846×H2070



# スライドゲート



※開閉動画  
ご覧になれます。



スライドゲート 米杉鋸引き 色:キシラデコール シルバーグレイ



スライドゲート ステンレス枠+ガラス



スライドゲート 米杉 色:キシラデコール シルバーグレイ



## ゼロヘッドルーム



垂れ壁の無い開口部に取り付けた特殊なオーバーゲージドアです。  
アルミ 特殊パネル 色:マーブルブラック W5270×H2630

電動スライドゲート。  
横に付いているゲレージドアと同じリモコンで開閉するので、便利です。  
米杉 色:キシラデコール ブルーグレイ W6500×H1600



## チタンガレージドア



表面は特殊加工により、光沢を抑えたマットな仕上げになっており独特の重厚感をかもし出しています。  
99%チタン W7000×H2100 2台



チタンは鉄やステンレスより強くて軽い金属で、なおかつ錆びません。又、年月を経るごとに、  
風合いが出て、家と共にその歴史を感じることが出来ます。  
軽量で強いチタンこそ、木と共にガレージドアに最適です。  
99%チタン W7150×H2400



表面パネルを筋違いに配置しています。開口幅8420mmと最大規模になります。  
99%チタン W8420×H2100



## 特注品 斜角加工オーバーガレージドア(石張り)

※開閉動画をご覧になれます。



前面道路の傾斜に合わせてドアを斜めに加工しています。  
パネルは壁と面一に納め、パネル表面は壁に合わせた石張りにしています。  
斜角パネル、面一納まり、石張りとすべて特別に設計されました。  
アルミ骨材+石張り W5260×H2596・2245

## スチール・アルミ



スチールのパンチングパネルを組み合わせて造りました。意匠性が良く、風通しも良いガレージドアです。  
スチール以外に、アルミやステンレスのパンチングパネルにも対応します。  
スチールパンチングパネル W5400×H2200



アルミスパンドレルを使ったスイングアップドアです。非常に軽量で、スイングアップドアとしては理想的な部材です。色もさまざまに対応でき、家のイメージに合わせて選べます。  
アルミホワイトスパンドレル W3800×H2200



## 産業用木製ガレージドア



アルミオーバーガレージドア パネル幅が広く木製とは違った重厚感があります。  
アルミ 塗装:ダークグレー 特殊マット仕上げ W5500×H2200



巨大重機のガレージに。6m×4mの特別サイズです。  
米柵 色:シッケンズ ウォルナット W6000×H4000



アルミサイドスライダー両開き W寸法は8m×2 16mまで対応可能です。  
アルミシルバー焼付塗装 W8000×H2200



自動車修理工場。特大手動式サイドスライダーです。  
米柵 色:シッケンズ ライトオーク W8000×H3500



## ガレージスクリーン(網戸)



オーバーガレージドアの内側に取り付けます。※開閉は手動です。  
 閉めた後もセンタードアから出入りできます。※ガレージ構造により取り付けられない場合があります。  
 色:アルミブロンズ W2400~5400 H1800~2400



オーバーガレージドアを開けたらガレージスクリーンを閉めます。  
 ※一枚物のスイングタイプです。





# 建具



某有名設計士の作品に後付しました。2枚吊り戸で、三和シャッター工業製のエンジンを使い、自動開閉します。材質は米ヒバで窓はアクリル板を使用しています。

米ヒバ W5960×H2225



アルミパネル 2重連動(電動)引き戸。横引きですがガレージドア用の開閉機で開閉します。3枚パネルの向かって右端はFIXです。

アルミ 色:シルバー焼付 W3600×H2200



ガレージドアと門扉(米松)

ガレージドアと同材の米松を使い門扉を製作しました。ヒンジはフロアヒンジになっており、回転して開く構造になっています。

米松 色:シッケンズ セトルHLS ウォールナット ガレージドアW2800×H2380 門扉W1200×H2380





**ガレージドア (米樺) と玄関ドア (米松)**

ガレージドアと玄関ドアの意匠を統一しています。

米樺・米松 色: シッケンズ セトールHLS ウォールナット ガレージドアW3680×H2350 玄関ドアW800×H2200



**格子引き戸 (米杉) とFIX (米松)**

引き戸は手動で軽量化を図る為、米杉を使用しています。FIXは米松です。



**ガレージドアと外壁 (米樺)**

ガレージドアと同材で外壁を作りました。外壁からガレージまでつながりあるデザインになっています。

米樺 色: シッケンズ セトールHLS ライトオーク W5250×H2200 (左) W2500×H2200 (右)



**格子引き戸とガレージドア (米松)**

アルミサッシの上から、木製格子戸を取付、縁側を製作しました。奥のガレージドアは手動式です。



## ビフォーアフター シャッターからガレージドアへ



After

お施主様は帰りが遅く  
シャッターの音を  
気にされていたのですが、  
木製ガレージドアに替えて  
音の心配がなくなり、  
家の印象も大きく変わりました。



Before

2連のシャッターを  
木製ガレージドアに  
替える事により、  
開閉のわずらわしさから  
解放され、見た目の印象も  
大きく変わりました。



After



Before

シャッターから木製ガレージドアに変えるだけで家の印象が、大きく変わります。



After



Before



Before



After



## 内観写真



スタンダードスタイル



スイングドア (パストドア付)



ローヘッドスタイル



サイドスライダー



## 安全性、気密性、耐久性への配慮



指詰め防止加工



サイドシールド (隙間塞ぎ)

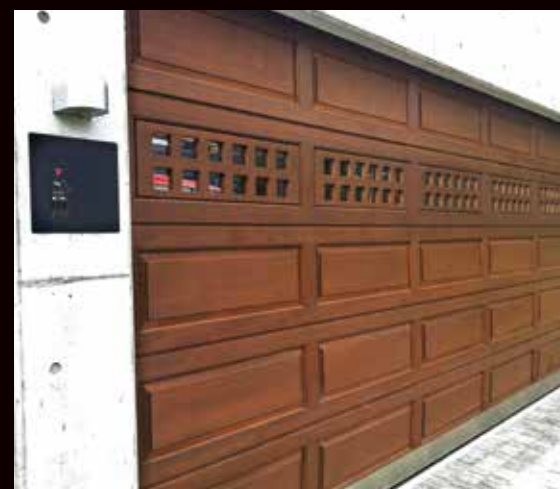


下部ステンレスプレート:OP



下部銅板プレート:OP

## 明り窓 (オプション)



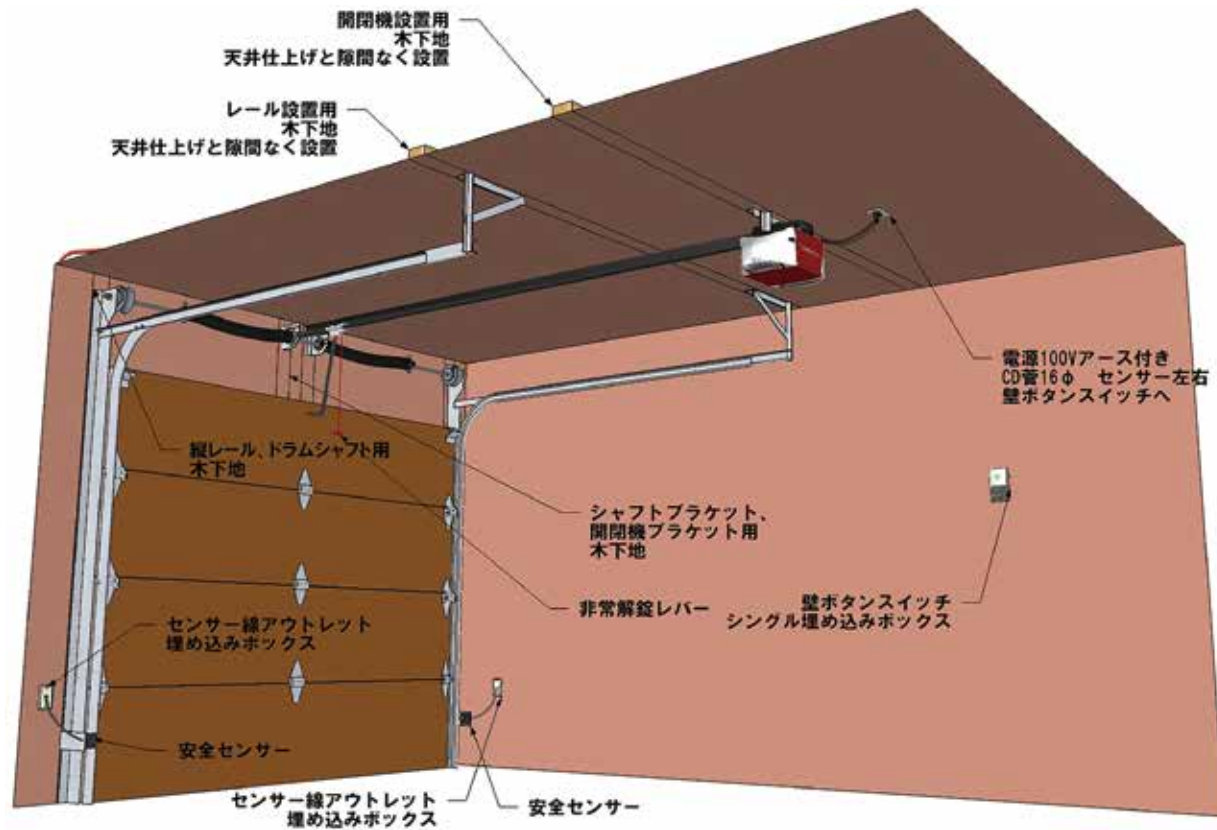
ステンドグラス、ガラス、  
ポリカ、アクリルなど、  
さまざまな素材に対応します。



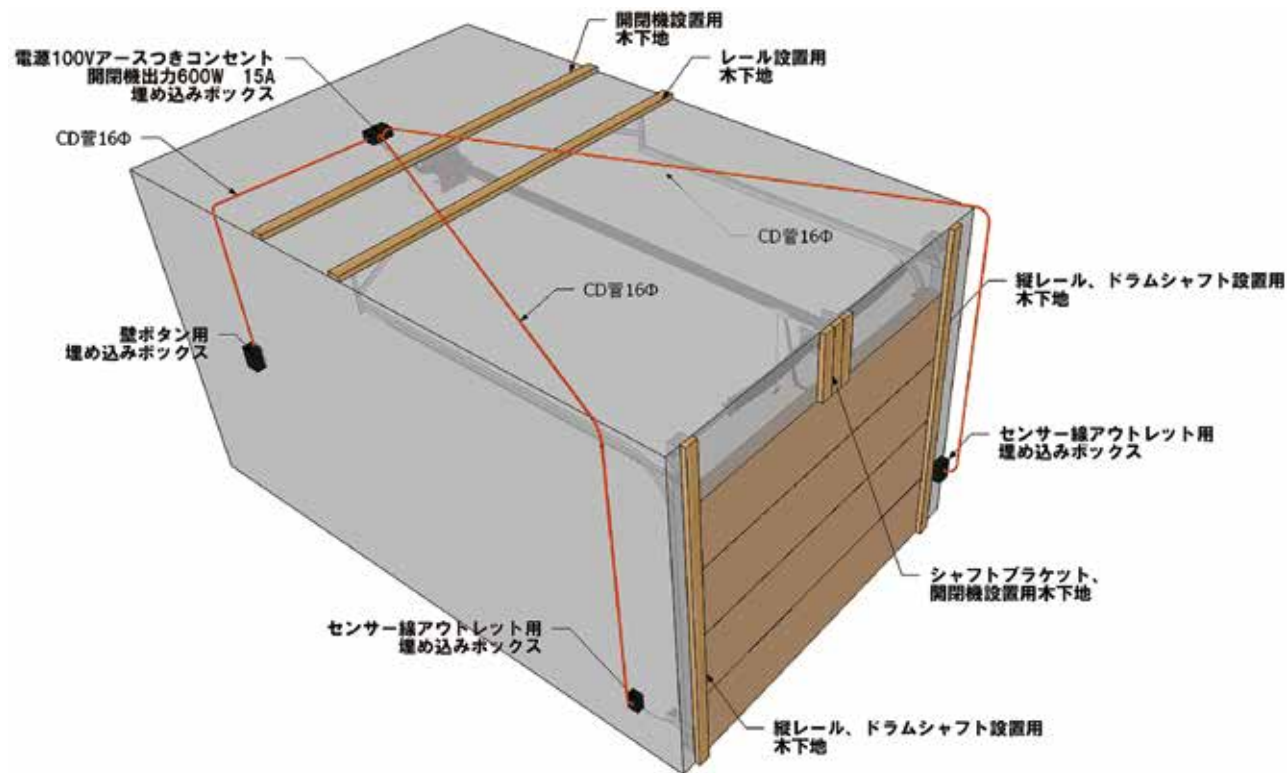
# 木製ガレージドア 納まり図

納まり・下地・配線図  
スタンダード型

ガレージ内観図

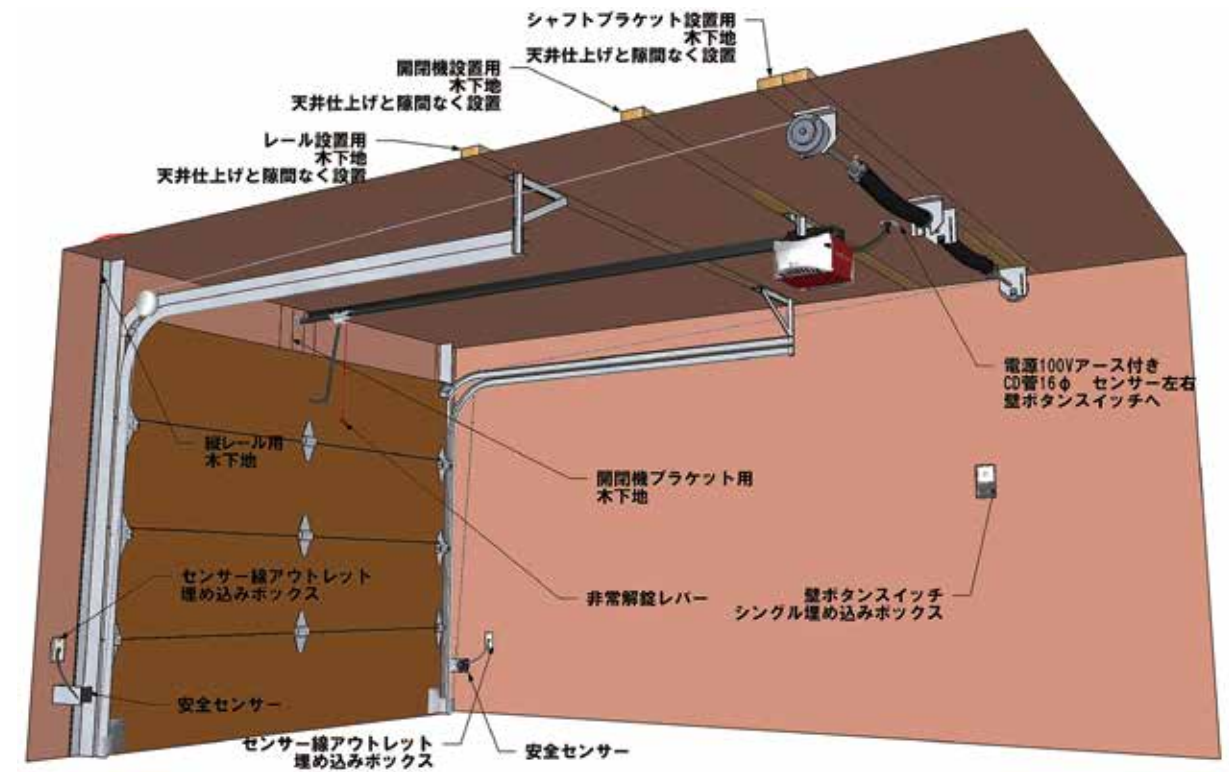


ガレージ外観図

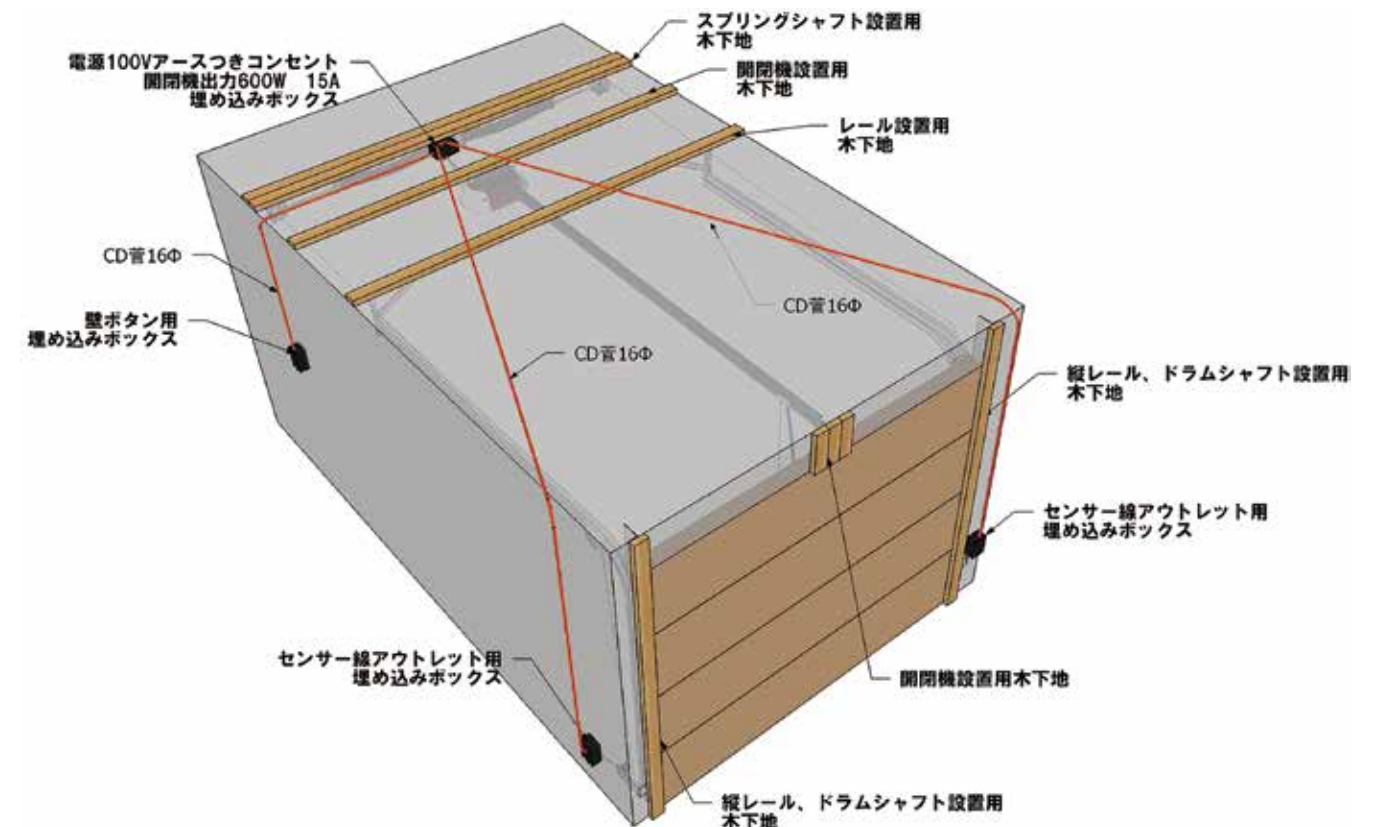


納まり・下地・配線図  
ローヘッド型

ガレージ内観図



ガレージ外観図





# 木製ガレージドアの特徴とポイント

木製ガレージドアは北米産の針葉樹を使用しています。  
直径1.2m以上の巨大な原木から柵目で節の無い部分のみを取り出し、製品に仕上げています。  
また、ハイグレードフラットタイプには最大板幅280mmで6mの無垢材を使います。  
このような材料は、通常の建築材では取れない貴重な物です。

米ヒバ (イエローシダー)	
特徴	輸入困難になった米檜(ひのき)に代わる良材で、神社、仏閣に使われています。耐候性が非常に強く、特に水に強いと言われ、建物の土台にも使われます。素地の色は黄色がかった白色で、木目が細かく、淡い色をしており、塗装色はどちらかと言えば、薄い色目をお勧めします。
ポイント	非常にきめの細かい材質で、塗装のりは若干悪い為、他の材種より薄めの仕上がりになります。また、ところどころ逆目(さかめ)の部分があり、その部分が塗料をよく吸い込み色が濃くなりムラとして見えますが、これも天然木の良さとしてご理解ください。



米ヒバ色ムラ

米松 (防火設備タイプ含む) (ダグラスファー)	
特徴	日本でもっともポピュラーな建築材で、強度、耐候性とも十分持ち合わせ、なおかつ加工がしやすい良材です。木製ガレージドアに於いては、米松でも特に木目の詰まった良材を使用しています。
ポイント	米松はヤニを多く含む木材です。一般的にはヤニが多いほど、耐候性が強く、元気な木であると言われますが、建築材として製品にすると、このヤニが吹き出ることによって見た目が悪くなる場合があります。木製ガレージドアに於いては、製材乾燥時にヤニ抜き乾燥を行っていますが、100%ヤニの噴出を抑える事は出来ません。特に、梅雨時から夏場の暑さによってヤニが出やすくなります。また、塗装色も濃い目の色の方が熱を吸収しやすく、ヤニが出やすいためなるべく淡い色をお勧めします。



米松ヤニ

米杉 (ウエスタンレッドシダー)	
特徴	北米では非常にポピュラーな木で、耐候性が強く、軽くて保温性に優れています。木目も印象的で、赤身部分から白身部分への切りかえしが見られる場合もあり色の濃淡がはっきり出ます。
ポイント	表面が柔らかいので、衝撃にはあまり強くありません。また、色の濃淡が出やすいため、お客様に理解してもらわなければなりません。模様タイプの場合は、丁番を固定する部分にSUSの貫通ボルト(ブロンズ色)を使うため、表面にボルト頭(半丸の化粧ボルトで角根になっている)が丁番の位置に4個ずつ見えます。



米杉濃淡

米桐 (ヘムロック)	
特徴	米松と同様、建築材に広く使われる材料で、加工しやすい木材です。木目もきれいで、色も白く塗装のりも良い材料です。木製ガレージドアのすべてのフラットタイプの枠(かまち・骨組み)にも使用しています。
ポイント	耐候性、強度などは米松より劣ります。また表面に独特の「かすり」という黒い筋が入る事があります。塗装仕上がりは、材料のところどころ逆目(さかめ)の部分があり、その部分が塗料をよく吸い込むため、色が濃くなりムラとして見えますが、これも天然木の良さとしてご理解ください。








米桐かすり

※天然の無垢材を使用しているため、多少の割れや反りが生じることがあります。また、モルタルやコンクリートなどの周辺部(扉側)が黒ずんだり、アスファルトからの水はねによって、黒い粒子状の汚れが付着することがあります。

## ■材質




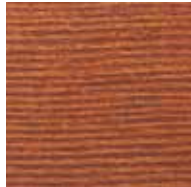


米ヒバ、米松、米杉、米桐などの無垢材を使用。お好みの材質がお選びになれます。

防火設備(EC)タイプ

 米ヒバ	 米松	 米杉	 米桐	 米松※
爽やかな香りがあり、耐腐朽性、耐蟻性に優れた水に強い良材です。木目は美しく、仕上がりは極めて艶やか。職人好みの木ともいわれています。耐久性があるので、寺社建築にも使われます。	住宅建築資材、木工製品など、通常考えられる製材品のすべてに渡し、日本人が最も好む木として親しまれています。※ヤニが出る事があります。	あらゆる木材の中でも腐朽に強いこと注目されています。特に外壁材として多く用いられ、柔らかい雰囲気づくりに適しています。	米松と同様、幅広い用途に使用されています。材は、白色から淡褐色で強度にもすぐれ、なおかつ軽量で非常に加工しやすい木材です。※一部筋が入る事があります。	防火設備タイプには4種類の材種の中から、もっとも比重が重く燃えにくい米松を選びました。※米松もしくは米松より比重の重い木材(ただし総重量は300kgまで)※ヤニが出る事があります。

## ■塗装色

※塗装色見本は印刷のため実物とは若干違うことがありますのでご了承ください。

多彩なカラーバリエーション	006 ライトオーク	009 ダークオーク	010 ウォルナット	020 エボニー
※木の表面を保護し、いつまでも美しく良好な状態でお使いいただくため、2~3年に一度の再塗装をおすすめします。				
塗料は木にやさしい浸透性のあるタイプを採用。木の保護(防腐・防虫・防カビ)に優れたものを使用しています。				
	023 ドリフトウッド	045 マホガニー	077 ナチュラル	085 チーク

フラットタイプ	
開口寸法	W6500mm以下 / H3000mm以下
幅	最大パネル幅280mm / 最大セクション幅560mm
ドア厚	骨組33mm・板12mm / 計45mm
材質	米ヒバ・米松・米杉

フラットタイプ	
開口寸法	W6500mm以下 / H3000mm以下
ドア厚	45mm
材質	米桐

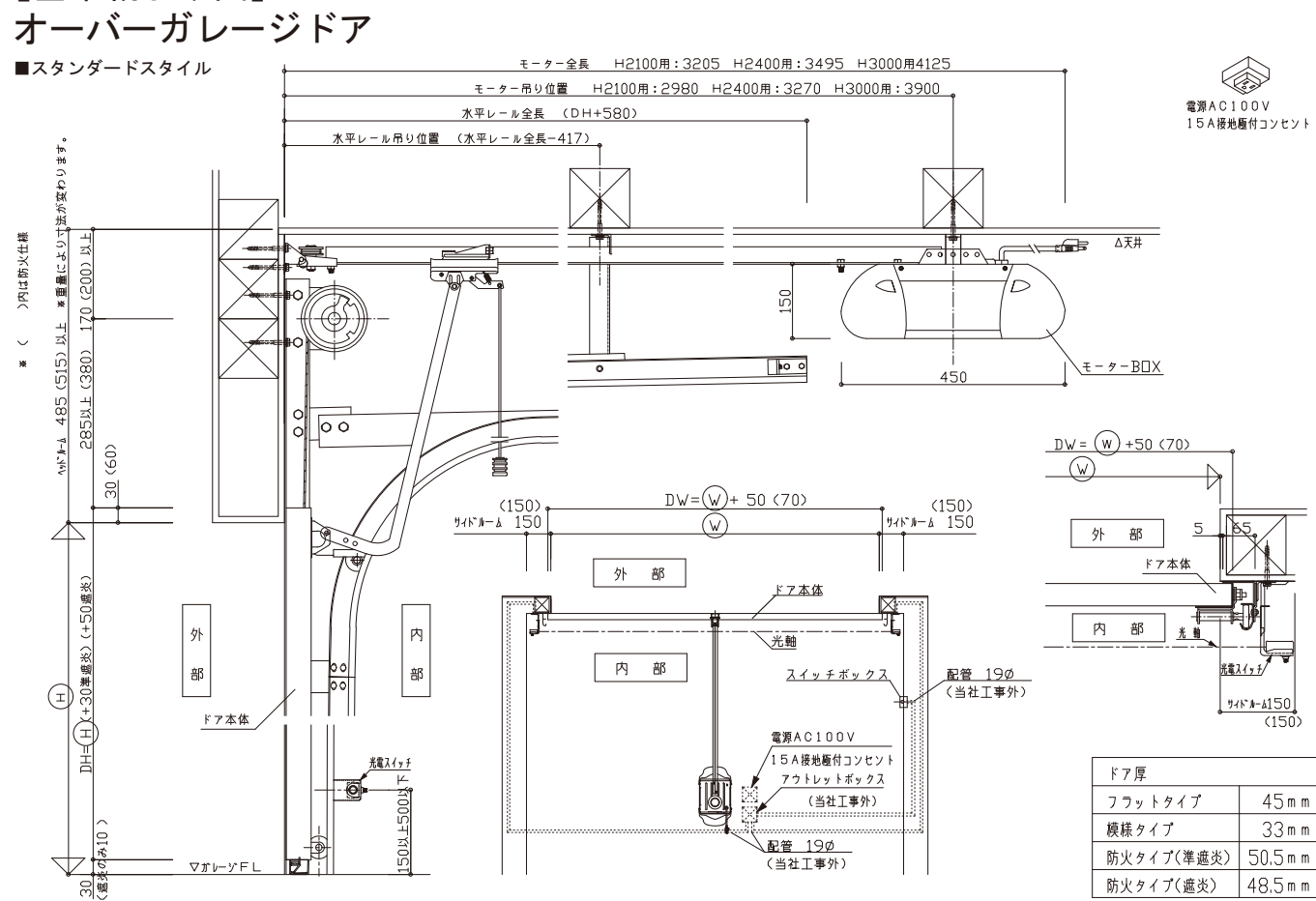
防火設備(EC)タイプ	
開口寸法	W5600mm以下 / H3000mm以下
幅	最大パネル幅280mm / 最大セクション幅560mm
ドア厚	50.5mm
材質	米松 ※米松もしくは米松より比重の重い木材(ただし総重量は300kgまで)

模様タイプ	
開口寸法	W6500mm以下(米杉はW5500mm以下) / H3000mm以下
セクション幅	中セクション340mm~395mm / 上下セクション410mm~465mm
ドア厚	33mm
材質	米ヒバ・米松・米杉・米桐

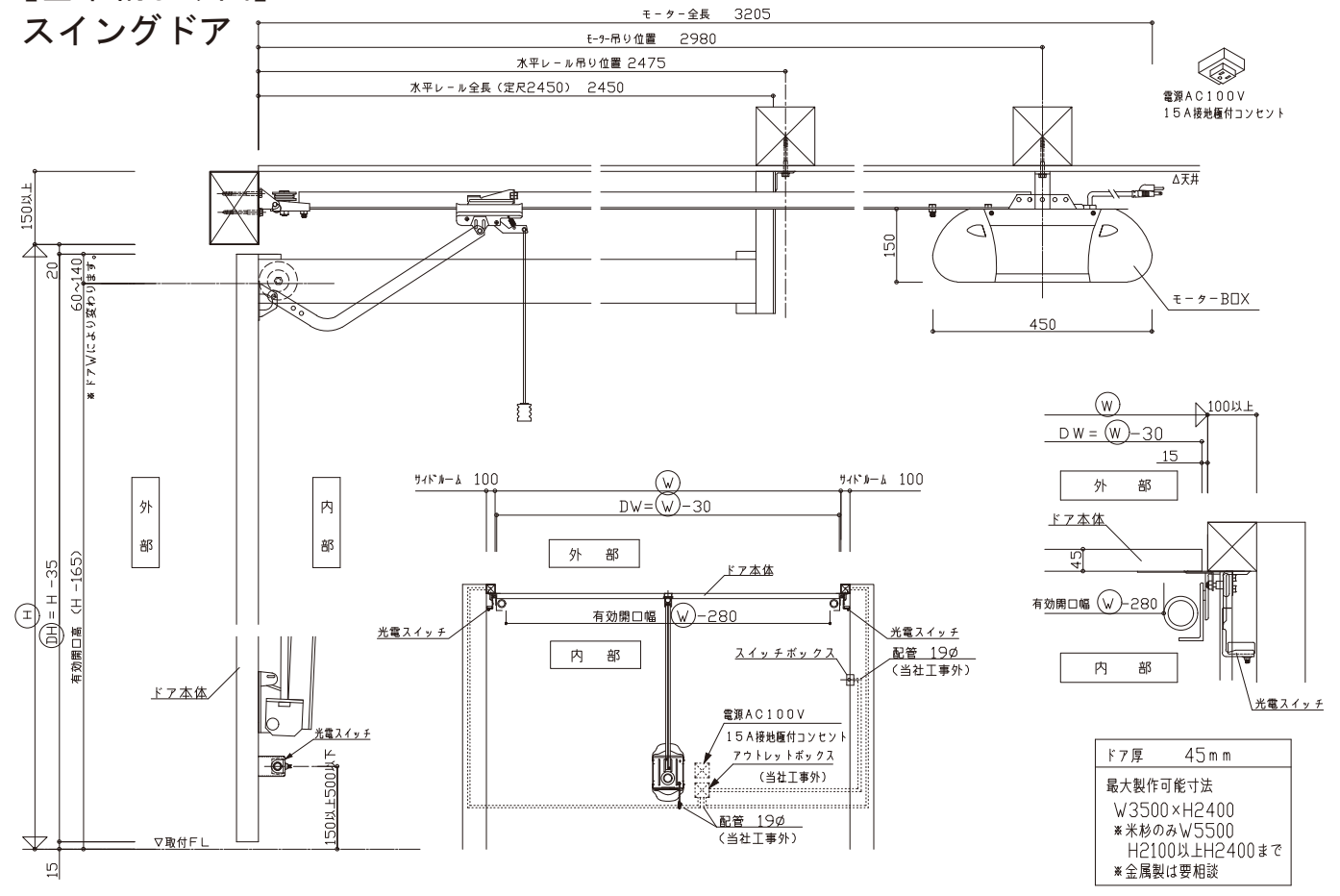


### 【基本納まり図】 オーバーガレージドア

■スタンダードスタイル

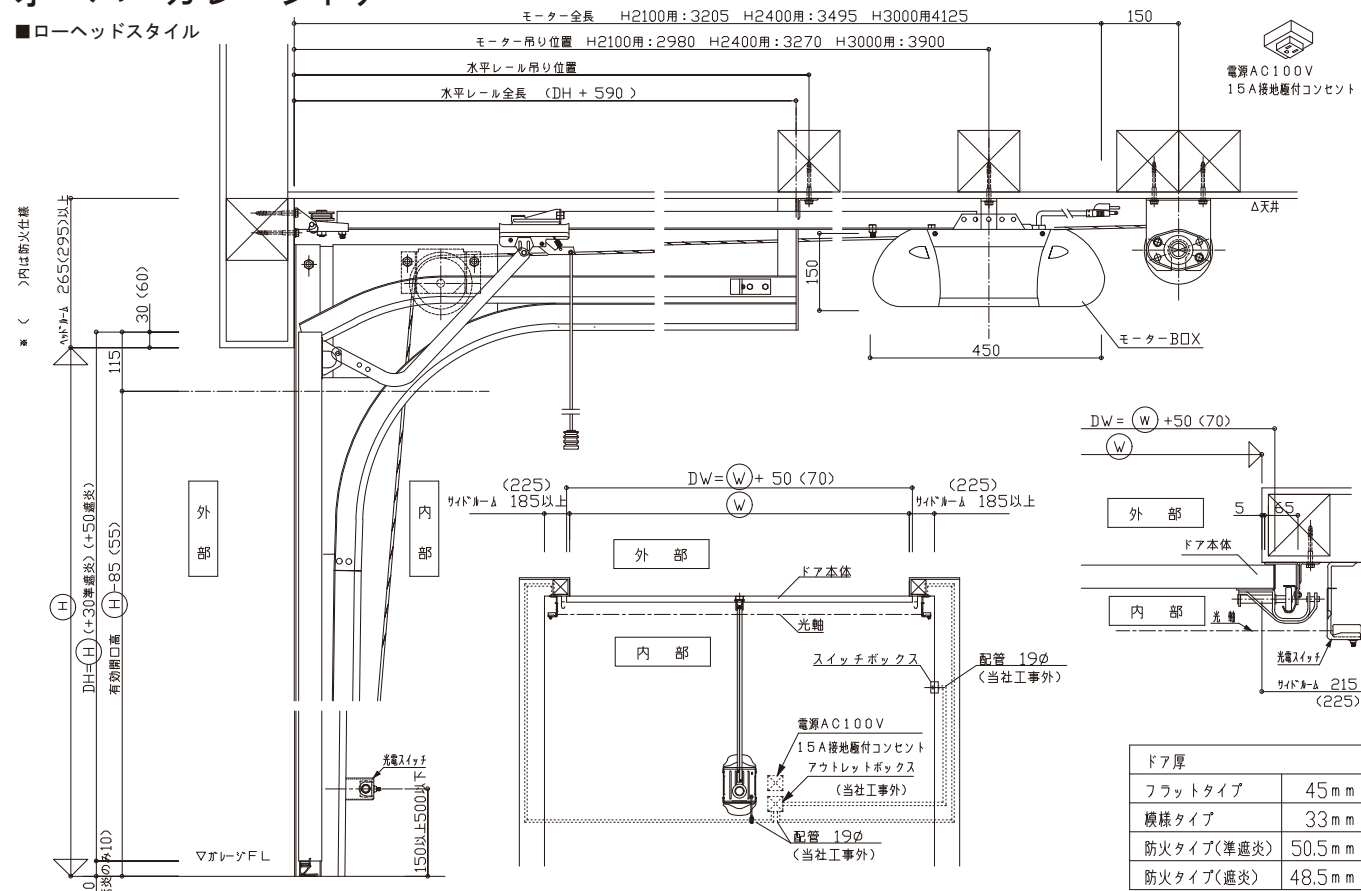


### 【基本納まり図】 スイングドア

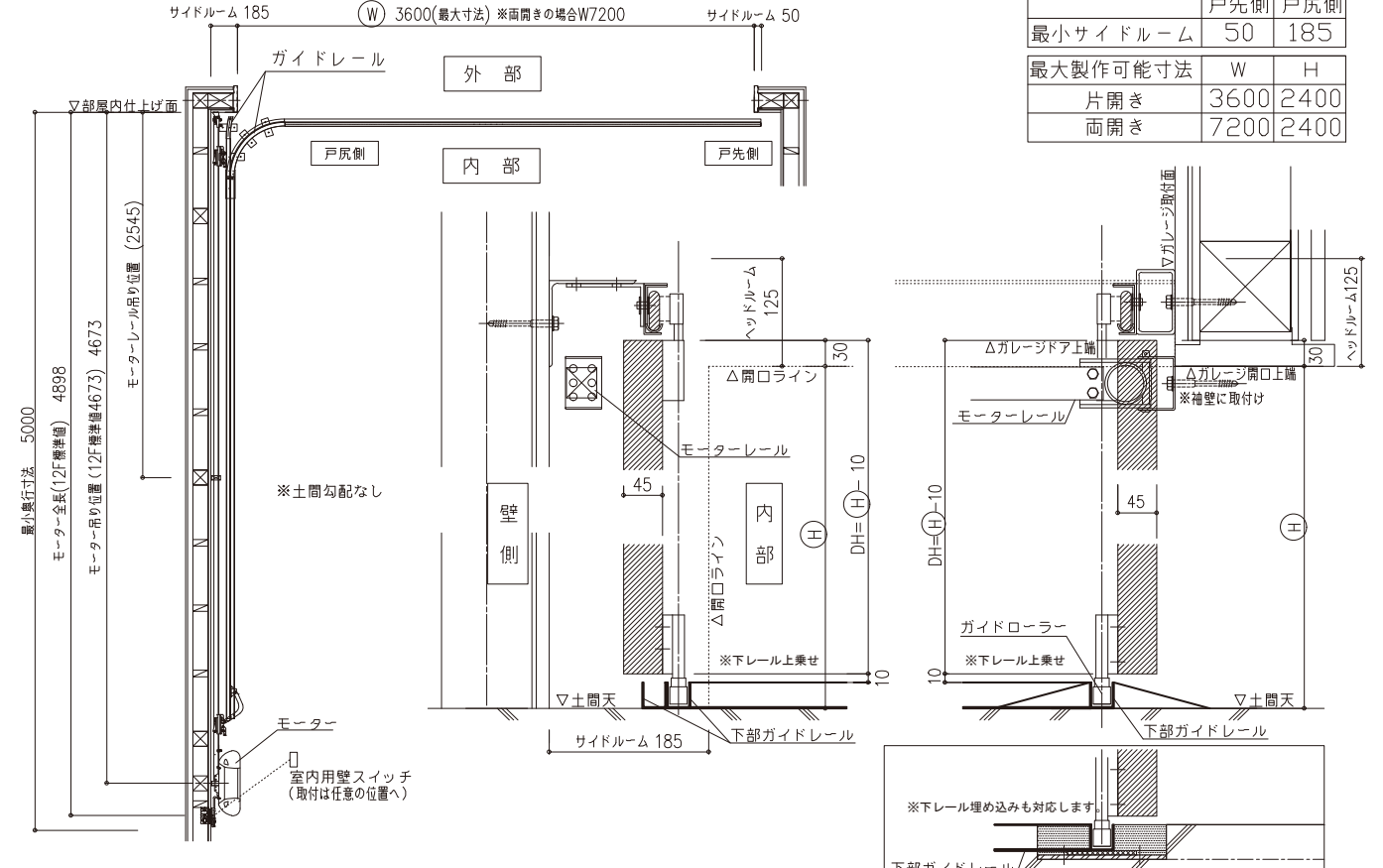


### 【基本納まり図】 オーバーガレージドア

■ローヘッドスタイル



### 【基本納まり図】 サイドスライダ



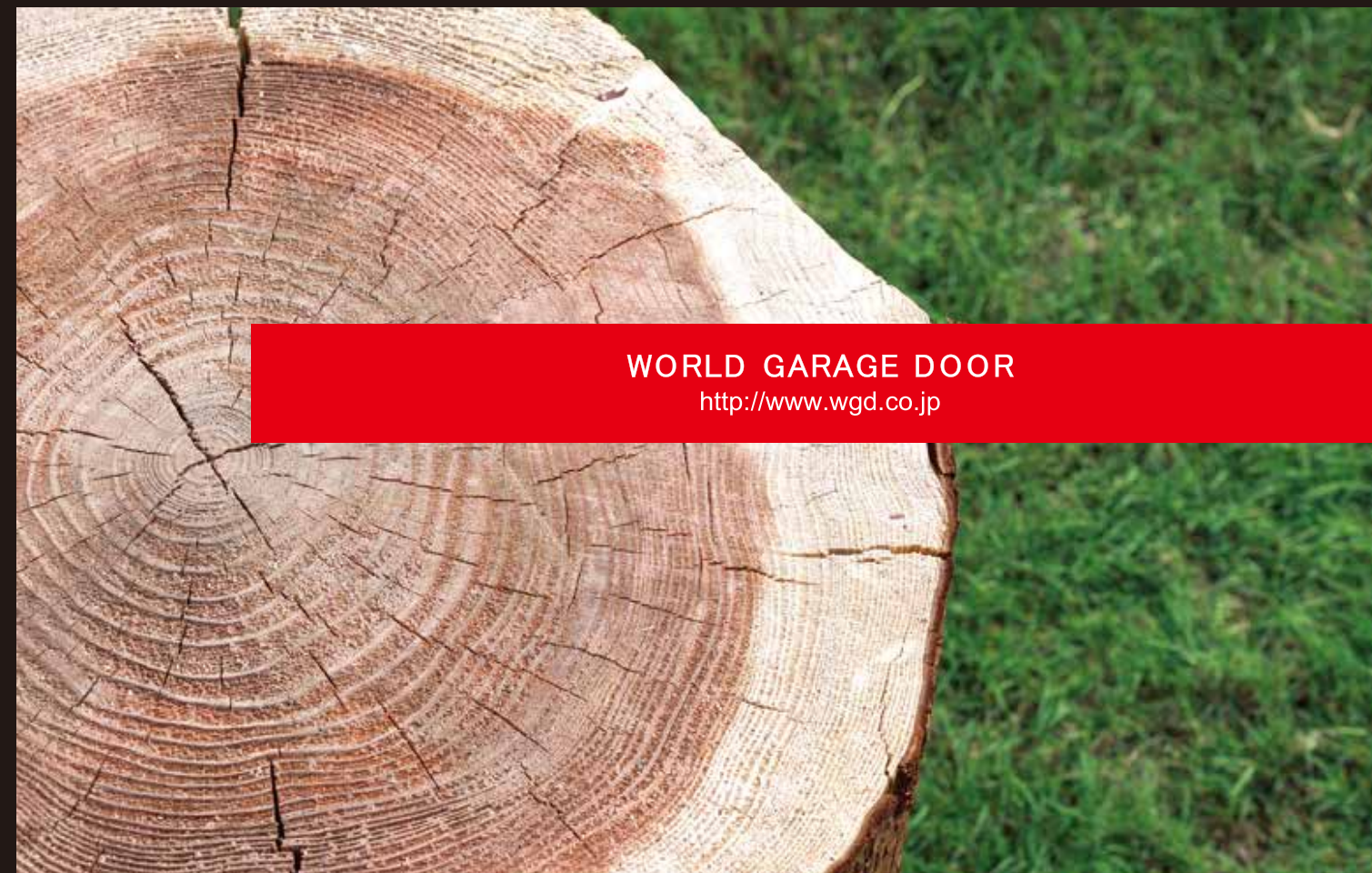


## 木製ガレージドア全体の注意点

- 木製オーバーガレージドアは天然木ですので、割れや反りが発生する事があります。
- 同じ仕様でも、立地条件によりパネル表面の劣化の度合いは変わります。  
西、南向きで庇(ひさし)のほとんど無い現場ではやはり劣化が早く、  
反対に大きく庇があり、直射日光のあまり当たらない現場と比べると施工後数年で差が出ます。
- また海辺や川の近く、湿気の多い場所などでは、米ヒバや米杉のような耐候性の強い材料を使う事をお勧めします。
- 塗装ムラに関して、現在使用している塗料**シッケンズ**は、色のりが良く、木目をきわだたせるため、非常に質感が高く、耐候性も優れた塗料ですが、木の表面に必ずある逆目や表面の部分的な毛羽立ちにより、塗装ムラ(色の濃い部分と薄い部分)が出ます。これは**無垢材の特徴**です。製作時にも極力、ムラの出そうな材料は、使わないようにしていますが、無塗装時に塗りムラを見極めるのも困難で、ムラの無い材料を100%集めるのは不可能です。しかし中にはそのムラを気にされるお客様もおられます。その場合は**キシラデコール**や**バトン**を使用する事をお勧めします。注文をいただく前に、当社に大き目の色サンプル(候補に挙がっている材質、色の物)を請求下さい。質感がわかり、お客様にも納得していただければ、後のクレームもなくなります。

## 木製ガレージドアのメンテナンス

- 日常的なメンテナンスは、まず付着したほこりをはたいて、水道水をしぼった布で拭くだけです。塗装が褪せてきたら、再塗装が必要です。そのまま放置すると、再塗装をしてもなかなかきれいになりません。また耐候性も落ちているので、条件の悪い場所では、腐食を起こすこともあります。
- 気候の変動により、パネルが乾燥したり、膨張したりします。これにより、丁番に負担がかかり、音鳴りする事があります。この場合、丁番の軸の部分に**CRC5-56**などの潤滑油を塗布してください。また、他の可動部分にも注油してください。



WORLD GARAGE DOOR

<http://www.wgd.co.jp>

株式会社 ワールドガレージドア

本社：工場 〒753-0212 山口県山口市下小鯖405-1  
TEL 083-927-6500 FAX 083-927-2414





木製ガレージドア  
本物を、創りつづける会社。



本物とは「素材と技術と時間を惜しまず、こだわり創られるもの」  
私たちはそう信じて追求してきました。  
お客様に常に満足して頂くために、上質の感動を届けるために  
私たちは創りつづけます。



WORLD GARAGE DOOR

株式会社ワールドガレージドア 〒753-0212 山口県山口市下小鯖405番地の1  
TEL.083-927-6500 FAX.083-927-2414 <http://www.wgd.co.jp>